

姉妹都市交流60年のあゆみ

～ 洞爺湖町・箱根町 姉妹都市提携 60 周年記念誌 ～

いつまでも
交流の絆を
たいせつに。



姉妹都市提携 **60** 周年記念誌目次

●箱根町長あいさつ……………	P. 2
●洞爺湖町長あいさつ……………	P. 3
●箱根町議会議長あいさつ……………	P. 4
●洞爺湖町議会議長あいさつ……………	P. 5
●提携の始まり……………	P. 6
●両町の概要……………	P. 7
●両町交流のあゆみ……………	P. 8
●60周年記念式典……………	P.16
●60周年記念事業……………	P.18
●交流の思い出……………	P.22
●箱根ジオパーク……………	P.26
●洞爺湖有珠山ジオパーク……………	P.27
●洞爺湖町・箱根町のあゆみ……………	P.28



箱根町長 勝俣浩行

Hirooyuki Katsumata

日本中がアジアで初の開催となった東京オリンピックに沸き立っていた昭和39年、蝦夷富士と言われる羊蹄山を湖面に映す洞爺湖を有する当時の虻田町と、富士山を映す芦ノ湖を有する箱根町が、ともに国内有数の温泉地であり、また国立公園でもあるという共通点から洞爺湖畔にて姉妹都市の誓いを立てました。

60年の歳月の中での交流は行政だけにとどまらず、両町民による自主的な交流が積極的に実践されてきました。平成27年には、大涌谷火山活動の活発化により、箱根町の基幹産業であります観光業や関連産業において、とても厳しい状況が続いていた箱根町のために、100人以上の方が応援ツアーとして箱根を訪れてくださいました。この応援ツアーのために制作されたオリジナルTシャツを着た皆さんをお迎えした時は、大変胸が熱くなりました。

また、60周年記念事業の一環として様々な交流イベントが行われた中、私も洞爺産業まつりにご招待いただき、毎回温かくお迎えしてくださる洞爺湖町の皆さんには、心から感謝しております。

両町のこうした交流の歴史は、貴重な財産であり、両町を深い信頼関係で結びつけました。私たちの関係が、お互いを思いやる深い友情にとどまらず、時にはともに同じ目標に向かって邁進する同志であり、非常時には遠く離れた土地でありながら、手を取り助け合う相互扶助の精神によって結び付けられていることを、心から嬉しく、誇りに思います。これまでの交流に携わり、両町の友情を育んできた先達に心から敬意を表します。私たちの絆は、大樹が年輪を刻むように、今後さらに太く、強固になっていくものと確信しております。

最後になりましたが、両町の深く末永い交流と、洞爺湖町のますますのご発展、また、町民の皆さんのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

洞爺湖町長 下道英明

Hideaki Shimomichi



昭和39年7月4日、箱根町と虻田町が洞爺湖畔において姉妹都市提携の契りを結び60年の歳月が経ちました。これまで数々の交流を重ねて、平成18年に虻田町と洞爺村が合併し洞爺湖町が誕生した際に、両町長が姉妹都市宣誓書に署名し継続して提携することが約束され、今日まで、さらなる絆を深めてまいりました。

昭和42年、中学生使節団の相互交流が始まり、その後、スポーツ少年団、青年・女性団体、議会、自治会、産業団体などが親善交流で絆を深め、友情の輪を広げてまいりました。平成30年、「北海道胆振東部地震」によって洞爺湖町内では、倒壊等の大きな被害はなかったものの、観光面で大きな影響がありました。そこで洞爺湖町応援ツアーとして100人以上の箱根町の方々に来町していただき、町民同士の交流が進み、両町の新たな相互支援の1ページが歴史に刻まれました。また本年60周年記念事業では、町民の相互交流が図られる事業として、洞爺湖マラソンや北海道ツーデーマーチ等のイベントに箱根町民が参加し、洞爺湖町民も有名な箱根大名行列に参加しました。

さて、近年は様々な災害が全国的に発生しています。当町は、姉妹都市提携以降、昭和52年と平成12年の2度にわたる有珠山噴火災害を経験しています。その際にも、温かいご支援や激励をいただきました。平成12年の有珠山噴火では、1カ月間にわたって29名の職員を派遣していただき、心の支えとなりました。当時活躍された箱根町職員の皆さんが、現在も当町職員と交流していることは、大変うれしく心強く思っております。平成27年、大涌谷周辺での火山活動活発化の際には大変心配しましたが、平成24年に締結された「大規模災害時等の相互応援協定」が大変重要な位置付けであるということを確認しました。今後も、両町民の友情の輪がさらに強く深く、そしていつまでも続きますことを心から願っております。

結びに、箱根町と洞爺湖町の輝かしい未来と両町民の皆さんのご健勝をお祈りし、本記念誌の作成に多大なるご協力を賜りました関係者の皆さんに心より感謝申し上げ、発刊にあたっての挨拶といたします。



箱根町議会議長 山田成宣

Shigenori Yamada

洞爺湖町との姉妹都市提携60周年記念誌の発刊にあたり、議会を代表して心からお祝い申し上げます。

昭和39年7月4日に洞爺湖町と箱根町は、自然景観が似ていることや、共に日本屈指の観光地であることから、姉妹都市提携を結んだものでありますが、歳月の流れは驚くほど早いもので、ここに60年という大きな節目を迎えることができました。

この間、両町の議会をはじめ、自治会や将来を担う子どもたちの交流、また漁業組合などの各種団体等による幅広い分野での交流を通じ培われてきた揺るぎない信頼関係は、私たちにとってかけがえのない大切な財産となっています。

また、大涌谷周辺での火山活動活発化の際には、洞爺湖町の町民100人以上の方が応援ツアーで訪れていただき、観光客減で悩んでいた箱根町を元気づけ、また温かいご支援をいただき深く感謝しているところであります。

ここに改めて洞爺湖町の皆さんに心からお礼と感謝を申しあげる次第であります。

60周年を契機として、これまで両町が蓄積してきた経験、ノウハウを更に今後のまちづくりや観光、文化の発展に活かされることを期待するとともに、お互いの個性を尊重し、友好の輪が子々孫々まで、限りなく成長していくことを願ってやみません。

結びになりますが、今後においても、あらゆる分野で積極的な交流を進め、両町の絆が、より強く、より深くなることを願うとともに、洞爺湖町の限りないご発展と町民皆さんの益々のご健勝を心からご祈念申しあげ、お祝いの言葉といたします。

洞爺湖町議会議長 大西 智

Satoshi Onishi



箱根町との姉妹都市提携60周年記念誌の発刊に当たり、議会を代表して心からお祝い申し上げます。

昭和39年7月4日、姉妹都市提携を結び、以来今日まで、中学生の親善訪問を始めとして、自治会や民間団体など、互いの交流を積み重ねながら親交を深め、その結果、多くの方々との絆が生まれ、この60周年という節目を迎えることができたと感じています。

この友好の歴史は、かけがえのない貴重な財産として、将来を担う子どもたちをはじめ、後世に引き継いでいけることは大変感慨深いものがありますが、これもひとえに、姉妹都市交流に携わってこられた多くの関係者の方々のご尽力の賜物であり、改めて心からの敬意と感謝を申し上げます。

また、令和2年に流行したコロナウイルス感染症においては、一昨年5月まで一部交流事業の制約もございましたが、規制の緩和と感染状況の鎮静化により、従前の交流事業が再開できることとなり、大変嬉しく思っているところでございます。

洞爺湖町議会といたしましても、引き続き皆さんとの交流を深め、両町の更なる友好関係の発展と絆の醸成に尽力してまいりたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、この60周年を契機に、箱根町と洞爺湖町の交流がさらに広がり、より一層の絆及び親睦が深まることを願うとともに、箱根町の限りない発展、また町民の皆さんの健康とご多幸をお祈り申し上げお祝いのことばといたします。

提携の始まり

箱根町は富士伊豆国立公園、虻田町は支笏洞爺国立公園に属し、お互いに国立公園の町であり、また芦ノ湖と富士山、洞爺湖と羊蹄山と非常に地形が似ていることや、両町とも観光の町ということで、昭和39年7月4日、姉妹都市提携の契りを結びました。

どのような経緯でこの提携が進められていったのか、そのいきさつを簡単に書いたものが、平成16年「広報あぶた」9月号に掲載されていますので、それを抜粋して紹介します。

東京オリンピックの年に姉妹提携

政府が経済白書「先進国への道」を発表して、経済の拡大と高度成長を指向する路線を明確にしたのは、昭和38年でした。

箱根町との姉妹都市提携宣言式は、昭和39年7月、洞爺湖畔で行われました。

この年は、「東京オリンピック」の開催年。オリンピックに合わせる形で、東海道新幹線が開通し、テレビのカラー放送化が普及し出しました。

虻田町でも洞爺湖温泉の急速な発展によって、昭和35年には、戸数2,334戸、人口も1万人の大台を超えて11,248人に達し、虻田・温泉間の即時電話が実現となり、翌年の36年には、虻田駅が道内初の特別急行列車「おおぞら」の停車駅となりました。駅名も虻田駅から洞爺駅に変更され、新興の保養地「洞爺湖温泉」の名が次第に全国に知られるようになって、町内は活気にあふれていた時でした。

姉妹都市提携の仕掛け人 浜野 豊さん

姉妹都市提携は、元万世閣社長の故浜野豊さんの構想から生まれたもので、この姉妹都市提携の仕掛け人といえるでしょう。

日本温泉協会の役員であった浜野豊さんは、昭和38年8月13日、日本生産性本部観光視察団の一員として、フィンランド・スウェーデン・ノルウェーの北欧3カ国を視察し、その後私費を投じて西ヨーロッパ7カ国をまわり、さらにアメリカにまで足を伸ばしました。早くから観光産業の国際化を予見し、観光立国を模索していた豊さんにとって、この海外で得た見聞は大きいものでした。

箱根町と姉妹都市提携に奔走した浜野 豊さん

昭和39年4月、浜野豊さんは、日本温泉協会の役員会に出席し、旧知の石村喜作箱根町長にヨーロッパ旅行の感動を話しました。石村町長は、温泉協会の副会長であり、町長の弟さんは、観光協会の会長を務め、みずからも湯本で「ホテル三昧荘」を経営していました。石村家と浜野家は、観光事業を通して万世閣の先代社長増次郎さんの頃からつき合いがありました。

旧知の心安さもあって豊さんは、箱根・虻田両町の姉妹都市提携を熱心に説きました。石村町長も豊さんの識見と情熱にうたれ熱心に聞きました。豊さんの話の中には、レマン湖・芦ノ湖・洞爺湖提携の構想もあったのではないのでしょうか。石村町長も姉妹都市提携に賛同しました。

6月、豊さんは、常盤虻田町長、町議会議員代表とともに再び箱根町を訪れ、正式に姉妹都市提携を確認しました。

7月、湖水まつりで賑う洞爺湖畔で「箱根・洞爺湖姉妹観光地提携宣言」の式典が行われました。奔走した浜野豊さんの感慨もまた深いものがあつたでしょう。40年間にわたる箱根町と虻田町の濃密な友情と交流はここから始まりました。

両町の概要

洞爺湖町

面積 180.87km²

人口 7,998人 (令和6年4月1日)

キャッチフレーズ 湖海と火山と緑の大地が結び
合い元気をつくる交流の町

まちの木 ななかまど、さくら

まちの花 すみれ、つつじ

町名のいわれ 町村合併に先立ち、一般公募
1,034点の中より選ばれた。「洞爺」は、アイ
ヌ語で「トー」が沼・湖、「ヤ」は岸を示し、
「湖岸」という意味である。

町章の意味 町村合併に先立ち、一般公募800点
の中より選ばれた。洞爺の「と」の字をモチー
フに「恵みの洞爺湖」「澄み切った洞爺湖」を
図案化した。

主なイベント 洞爺湖マラソン、洞爺産業まつ
り、洞爺夏祭り、洞爺湖ロングラン花火大会など

観光客(入込) 234万5,792人
(令和5年4月～6年3月)

宿泊客数 63万8,347人 (令和5年4月～6年3月)

名産・土産 ホタテ、わかさいも、財田米、とう
や湖和牛など

箱根町

面積 92.86 km²

人口 1万866人 (令和6年4月1日)

キャッチフレーズ やすらぎとおもてなしのあふ
れる町ー箱根

まちの木 ヤマザクラ

まちの花 ハコネバラ

町名のいわれ 「箱根」という地名は、万葉集に
歌われたように古くからそう呼ばれており、
「はこ」は箱、「ね」は峰(みね)のネを示し、
「箱型の山」という意味である。

町章の意味 中央の三角は、「ハ」を表すとと
もに箱根連峰を示し、丸い「コ」をもって平和
な町を表現する。

主なイベント 湖水祭、鳥居焼まつり、箱根強羅
温泉大文字焼、箱根大名行列など

観光客(入込) 1,951万人 (令和5年1月～12月)

宿泊客数 393万8,000人 (令和5年1月～12月)

名産・土産 箱根寄木細工、芦ノ湖のワカサギなど

洞爺湖町



箱根町



両町交流のあゆみ

<昭和39年から平成26年まで>

1964年（昭和39年）

7月 姉妹町の提携・提携宣言式（於洞爺湖）

1965年（昭和40年）

5月 箱根町から議会議員

7月 虻田町から議会議員

1966年（昭和41年）

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

1967年（昭和42年）

7月 洞爺湖温泉開基50年記念式典に箱根町長出席

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

11月 虻田町から中学生使節団（8人）

1968年（昭和43年）

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

11月 虻田町から中学生使節団（10人）

1969年（昭和44年）

6月 箱根町から議会議員

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

9月 虻田町から議会議員

11月 虻田町から中学生使節団（10人）

1970年（昭和45年）

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

11月 虻田町から中学生使節団（12人）

1971年（昭和46年）

8月 箱根町から中学生使節団（11人）

11月 虻田町から中学生使節団（11人）

1972年（昭和47年）

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

11月 虻田町から中学生使節団（4人）

1973年（昭和48年）

6月 箱根町から議会議員

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

8月 虻田町から議会議員

9月 箱根町から教育委員会

10月 箱根町から青年団・婦人会員

11月 虻田町から中学生使節団（6人）



▲洞爺湖畔で行われた提携式典（昭和39年）



▲提携の日、記念撮影に臨む常盤虻田町長（右端）と石村箱根町長（右から2人目）ら（昭和39年）



▲祝賀会で両町の提携を祝い万歳三唱する参加者（昭和39年）

1974年（昭和49年）＜提携10周年＞

- 6月 箱根町から教育委員会
- 8月 箱根町から中学生使節団（11人）
- 9月 虻田町から青年団・婦人会員
- 9月 箱根町から青年団・婦人会員
- 9月 箱根町から一心会員
- 11月 虻田町から中学生使節団（12人）

1975年（昭和50年）

- 6月 箱根町から青少年指導員
- 7月 虻田町から青年会・婦人会員
- 8月 箱根町から中学生使節団（13人）
- 10月 箱根町から体育協会員
- 11月 虻田町から中学生使節団（12人）

1976年（昭和51年）

- 3月 虻田町から剣道スポーツ少年団員
- 7月 第30回洞爺湖湖水まつりに箱根大名行列友情参加
- 7月 箱根町から議会議員
- 8月 箱根町から中学生使節団（13人）
- 9月 箱根町制20周年記念式典に虻田町長、議会議員出席
- 10月 箱根町から少年団体育指導者
- 11月 両町ライオンズクラブ姉妹提携を結ぶ
- 11月 虻田町から中学生使節団（11人）

1977年（昭和52年）

- 3月 虻田町から剣道スポーツ少年団
- 6月 箱根町から自治会連絡協議会員
- 7月 洞爺湖湖水まつりに湯立獅子舞特別参加
- 8月 有珠山噴火被災を箱根町長、議長が見舞う
- 11月 箱根町から中学生使節団（13人）
- 11月 有珠山噴火被災見舞に対し、虻田町長が答礼

1978年（昭和53年）

- 1月 虻田町小中学校教員噴火見舞お礼
- 6月 箱根町から自治会連絡協議会員
- 7月 箱根町から議会議員
- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 10月 虻田町から区長会員
- 10月 箱根町で虻田物産即売会実施
- 11月 虻田町から中学生使節団（17人）

1979年（昭和54年）

- 6月 箱根町から自治会連絡協議会員
- 8月 箱根町から中学生使節団（14人）
- 10月 箱根町から体育指導委員
- 10月 虻田町から自治会員
- 10月 虻田町から婦人会員



▲箱根町中学生使節団から贈られた白鳥（年代不明）



▲箱根町長も出席して行われた洞爺湖温泉開基50周年記念式典（昭和42年）



▲第30回洞爺湖湖水まつりに友情参加した箱根大名行列（昭和51年）

11月 虻田町から中学生使節団（12人）

11月 虻田町から交通指導員

1980年（昭和55年）

7月 箱根町から自治会婦人会員

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

8月 虻田町から自治会会員

9月 虻田町から議会議員

10月 虻田町開基180年記念式典に箱根町助役出席

11月 虻田町から中学生使節団（12人）

1981年（昭和56年）

3月 虻田町から体育指導委員

7月 箱根町から自治会役員

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

9月 箱根町から消防団員

10月 箱根町からバドミントン協会員

11月 虻田町から中学生使節団（12人）

1982年（昭和57年）

6月 箱根町から美化パトロール隊員

6月 箱根町から議会議員

8月 虻田町から野球スポーツ少年団員

8月 箱根町から小中学校教職員

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

11月 箱根町から民生委員

11月 虻田町からバドミントン協会員

11月 虻田町から中学生使節団（12人）

12月 両町交通公社協定旅館連盟姉妹提携を結ぶ（於虻田町）

1983年（昭和58年）

7月 虻田町から民生委員児童委員

7月 箱根町から自治会連絡協議会員

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

8月 箱根町から小中学校教職員

11月 虻田町から中学生使節団（12人）

1984年（昭和59年）＜提携20周年＞

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

8月 箱根町から小中学校教職員

10月 姉妹提携20周年記念式典（箱根町で開催）

10月 箱根町から婦人団体連絡協議会員

10月 箱根町から文化財保護委員

10月 虻田町から中学生使節団（12人）

1985年（昭和60年）

7月 箱根町から自治会連絡協議会員

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

8月 箱根町から小中学校教職員



▲箱根町で初めて虻田町の物産販売会を開催（昭和51年）



▲箱根町で親善試合を行い交流を深めた虻田町剣道スポーツ少年団（昭和51年）



▲箱根町で行われた両町ライオンズクラブの姉妹提携調印式（昭和51年）

10月 虻田町から中学生使節団（11人）

10月 虻田町から老人クラブ連合会

1986年（昭和61年）

6月 箱根町から老人クラブ連合会

7月 箱根町から自治会連絡協議会員

8月 第40回洞爺湖湖水まつりに箱根大名行列友情参加

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

8月 箱根町から小中学校教職員

10月 虻田町から中学生使節団（11人）

1987年（昭和62年）

7月 箱根町から自治会連絡協議会員

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

8月 箱根町から小中学校教職員

10月 虻田町から中学生使節団（11人）

10月 虻田町から議会議員

1988年（昭和63年）

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

8月 箱根町から小中学校教職員

8月 箱根町からバレーボール協会員

10月 虻田町から教育委員

10月 虻田町から中学生使節団（11人）

1989年（平成元年）

6月 箱根町から自治会連絡協議会員

6月 箱根町から体育協会員

8月 箱根町から中学生使節団（13人）

8月 箱根町から小中学校教職員

10月 虻田町から中学生使節団（11人）

1990年（平成2年）

3月 箱根町から仙石原剣道会員

5月 箱根町から議会議員

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

8月 箱根町から小中学校教職員

10月 虻田町から中学生使節団（11人）

1991年（平成3年）

7月 虻田町から議会議員

7月 箱根町から自治会連絡協議会員

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

8月 箱根町からバレーボール協会員

8月 箱根町から小中学校教職員

10月 虻田町から中学生使節団（10人）

1992年（平成4年）

3月 虻田町から剣道スポーツ少年団員

3月 虻田町からバレーボール協会員



▲洞爺湖湖水まつりに特別参加した箱根無形文化財湯立獅子(昭和52年)



▲虻田町婦人団体連絡協議会が箱根町を親善訪問(昭和54年)



▲箱根町バトミントン協会と虻田町で親善試合を実施(昭和56年)

- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 8月 箱根町から小中学校教職員
- 9月 虻田町から民生委員協議会
- 10月 虻田町から中学生使節団（11人）

1993年（平成5年）

- 6月 箱根町から自治会連絡協議会員
- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 8月 箱根町から小中学校教職員
- 10月 虻田町から中学生使節団（11人）

1994年（平成6年）＜提携30周年＞

- 7月 姉妹提携30周年記念式典（虻田町で開催）
第48回洞爺湖湖水まつりに箱根大名行列友情参加
- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 10月 虻田町から中学生使節団（11人）

1995年（平成7年）

- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 10月 虻田町から中学生使節団（11人）
- 10月 虻田町から議会議員

1996年（平成8年）

- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 9月 虻田町から町長・副議長（町制40周年記念式典）
- 10月 虻田町から中学生使節団（11人）

1997年（平成9年）

- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 8月 虻田町から中学生使節団（11人）

1998年（平成10年）

- 7月 虻田町から町長表敬訪問
- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 8月 虻田町から中学生使節団（11人）
- 9月 箱根町から議会議員

1999年（平成11年）

- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）
- 8月 虻田町から中学生使節団（11人）
- 10月 虻田町から議会議員

2000年（平成12年）

- 4月 箱根町長・議長有珠山噴火見舞、現地視察
- 5月 箱根町長・議長・副議長義捐金持参
- 5月 箱根町より災害救護活動
派遣29名（5月22日～6月21日）対策本部、
消防関係、建築技術関係、福祉関係の業務を
3班で支援

2001年（平成13年）

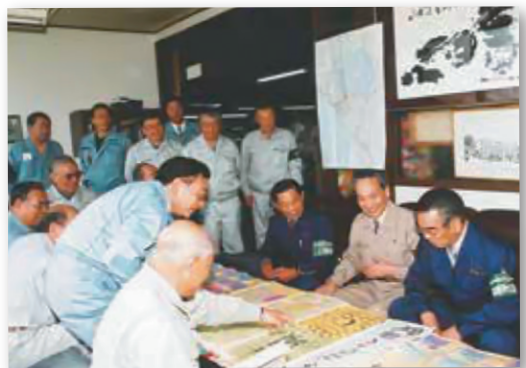
- 8月 箱根町から中学生使節団（12人）



▲箱根町を訪問し、親善試合を行った虻田ジュニアオーシャン（昭和57年）



▲箱根町で活動事例の発表など交流を深めた両町の民生委員児童委員（昭和58年）



▲有珠山噴火のお見舞いに虻田町を訪問した箱根町長と議会議長（平成12年）

8月 虻田町から中学生使節団（11人）

2002年（平成14年）

7月 箱根町から議会議員

8月 箱根町から中学生使節団（12人）

8月 虻田町から中学生使節団（11人）

10月 洞爺湖文化センターで開催された
「2002火山砂防フォーラム」に箱根町助役が
出席した際、虻田町を訪問

10月 虻田漁業協同組合表敬訪問

2003年（平成15年）

6月 虻田町役場庁舎、消防庁舎、防災センター
落成記念式典に箱根町長、議会議長出席

7月 箱根町から中学生使節団（8人）

8月 虻田町から中学生使節団（9人）

9月 箱根町敬老会へ参加（ホタテPR）

12月 虻田町から議会議員親善訪問

2004年（平成16年）＜提携40周年＞

7月 姉妹提携40周年記念式典（箱根町で開催）

虻田町から中学生使節団（9人）

8月 箱根町から中学生使節団（8人）

10月 虻田町自治会連合会

2005年（平成17年）

7月 虻田町復興感謝祭に箱根大名行列参加

虻田町から中学生使節団（8人）

8月 箱根町から中学生使節団（8人）

2006年（平成18年）

6月 町村合併で町名変更の洞爺湖町として箱根町と
姉妹都市宣誓書を交わす

7月 洞爺湖町から中学生使節団（8人）

8月 箱根町から中学生使節団（8人）

2007年（平成19年）

7月 洞爺湖町から中学生使節団（8人）

8月 箱根町から中学生使節団（8人）

2008年（平成20年）

7月 洞爺湖町から中学生使節団（10人）

8月 箱根町から中学生使節団（8人）

2009年（平成21年）

7月 洞爺湖町から中学生使節団（8人）

8月 箱根町から中学生使節団（8人）

11月 洞爺湖町から町議会議員

2010年（平成22年）

1月 箱根町から2000年有珠山噴火当時の応援町職員来町

7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）



▲姉妹都市提携40周年を記念して、植樹を実施（平成16年）



▲虻田町復興感謝祭に参加した箱根大名行列（平成17年）



▲両町が「大規模災害時等の相互応援協定」を締結（平成24年）

8月 箱根町から中学生使節団（6人）

2011年（平成23年）

7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）

8月 箱根町から中学生使節団（6人）

10月 洞爺湖町から自治会連合会

2012年（平成24年）

6月 「大規模災害時等の相互応援協定」締結

7月 箱根町から自治会長親善訪問団

洞爺湖町から中学生使節団（6人）

8月 箱根町から中学生使節団（6人）

11月 洞爺湖町から自治会連合会

2013年（平成25年）

5月 箱根町から町議会議員（有志）の研修で訪問

7月 箱根町から自治会連絡協議会親善訪問団

洞爺湖町から中学生使節団（6人）

8月 箱根町から中学生使節団（6人）

11月 洞爺湖町から町議会議員

11月 箱根駅伝に出場する各大学にじゃがいも「とうや」寄贈

2014年（平成26年）＜提携50周年＞

5月 「チャレンジデー」で両町対戦

6月 TOYAKOマンガ・アニメフェスタに箱根町の
エヴァンゲリオン仕様の公用車が参加し、痛車
部門で特別賞を受賞

7月 姉妹都市提携50周年記念式典（洞爺湖町で開催）

洞爺湖町から中学生使節団（6人）

8月 箱根町から中学生使節団（6人）

11月 箱根駅伝に出場する各大学にじゃがいも「とうや」
寄贈

12月 仙石原文化センターまつりで洞爺湖町産じゃがいもの
詰め放題を実施

2015年（平成27年）

7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）

8月 箱根町から中学生使節団（6人）

9月 洞爺湖町から112人の町民が箱根応援ツアーで来訪

11月 洞爺湖町から消防団親善訪問

12月 洞爺湖漁業協同組合から災害見舞品
（ヒメマス活魚卵）贈呈

2016年（平成28年）

3月 洞爺湖町合併10周年記念式典に箱根町長、
議会議長出席

5月 箱根町から消防団親善訪問

7月 洞爺湖温泉開湯100年記念式典に箱根町長、
議会議長出席



▲TOYAKOマンガ・アニメフェスタに箱根町の公用車が参加（平成26年）



▲姉妹都市提携50周年式典にて、宣誓書に調印し握手を交わす真屋町長（左）と山口町長（右）（平成26年）



▲洞爺湖温泉の開湯100年を祝う式典に、箱根町長、議会議長が参加（平成28年）

- 7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）
- 8月 箱根町から中学生使節団（6人）
- 9月 洞爺湖町から消防団親善訪問

2017年（平成29年）

- 7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）
- 8月 箱根町から中学生使節団（6人）
- 9月 箱根町から消防団親善訪問

2018年（平成30年）

- 6月 箱根町から議会議員親善訪問
- 7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）
- 8月 箱根町から中学生使節団（6人）
- 10月 洞爺湖町から議会議員親善訪問
- 12月 箱根町から108人が洞爺湖町応援ツアーで来訪

2019年（令和元年）

- 7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）
- 8月 箱根町から中学生使節団（6人）
- 11月 洞爺湖町から交通安全指導員会親善訪問

2021年（令和3年）

- 10月 箱根中学校・虻田中学校オンライン交流会

2022年（令和4年）

- 10月 箱根中学校・虻田中学校・洞爺中学校オンライン交流会
- 10月 洞爺湖町から議会議員親善訪問

2023年（令和5年）

- 7月 洞爺産業まつりに箱根町副町長出席
- 7月 箱根町から議会議員親善訪問
- 7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）
- 8月 箱根町から中学生使節団（6人）
- 11月 洞爺湖町から箱根駅伝出場校に、じゃがいも「とうや」を贈呈

2024年（令和6年）＜提携60周年＞

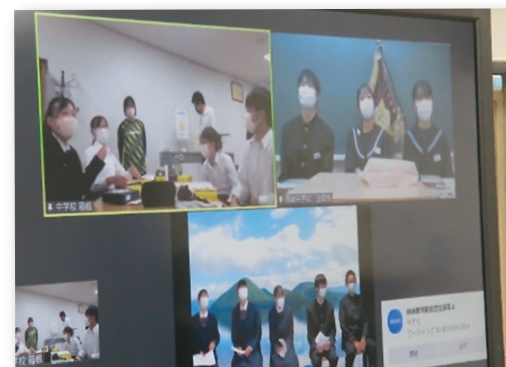
- 1月 第100回箱根駅伝において、洞爺湖町長、議会議員が洞爺湖町をPR
- 6月 洞爺産業まつりに箱根町長出席
- 7月 箱根町から交通指導隊親善訪問
- 7月 姉妹都市提携60周年記念式典（箱根町で開催）
- 7月 洞爺湖町から中学生使節団（6人）
- 8月 箱根町から中学生使節団（6人）



▲平成27年には洞爺湖町から、平成28年には相互に、平成29年には箱根町から、それぞれ消防団が親善訪問



▲洞爺湖町の中学生使節団が箱根ジオミュージアムを見学（平成29年）



▲新型コロナウイルス感染症による行動制限の中、中学生のオンライン交流を実施（令和4年）

60周年記念式典

洞爺湖町と箱根町の姉妹都市提携60周年を記念し、締結日と同日の令和6年7月4日に、箱根町の湯本富士屋ホテルで式典及び祝賀会を開催しました。



▲洞爺湖町一行が箱根町に到着し、歓迎を受けました。



▲両町長による署名後に宣誓書を取り交わし、両町それぞれで作成した記念品を交換しました。



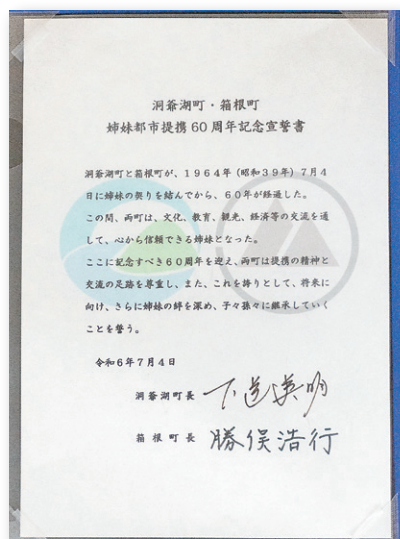
▲両町議会議員等から交流にまつわる逸話をお話しいただきました。



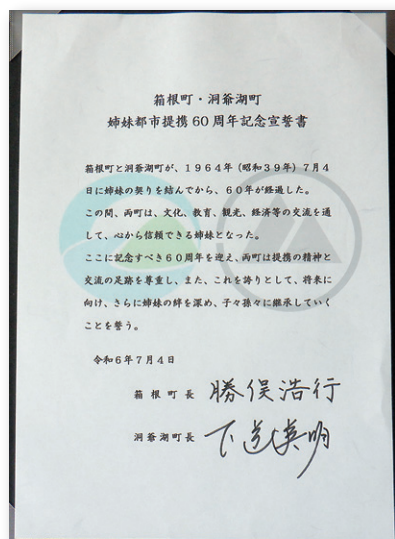


▲両町の交流風景を掲載したパネルや、中学生使節団の感想文集などを展示しました。

☆宣誓書☆



▲洞爺湖町宣誓書



▲箱根町宣誓書

☆記念品☆



▲箱根町から洞爺湖町

(説明)

伝統的工芸品として知られる箱根寄木細工で、洞爺湖町の町章を作成しました。



▲洞爺湖町から箱根町

(説明)

イチイの木で作った洞爺湖町の守り神「洞龍(とうろん)くん」が、箱根町の未来を見据えている木彫りの作品です。

60周年記念事業

第50回記念ANA洞爺湖マラソン2024

箱根町民9名が5月18日から20日まで洞爺湖町を訪問し、「第50回記念ANA洞爺湖マラソン2024」に参加しました。総勢約5,300名が参加した大会で、自然豊かな洞爺湖の周り約5kmのコースを走り切りました。また、洞爺湖ビジターセンターを訪問し、有珠山が噴火した当時の映像から、自然災害の恐ろしさや洞爺湖町の歴史を学びました。



サマーフェスタ2024in洞爺湖

箱根町職員3名が7月19日から22日まで洞爺湖町を訪問し、「サマーフェスタ2024in洞爺湖」で姉妹都市観光ブースを出店しました。観光ブースで観光PR、物産販売、寄木細工抽選会を行ったほか、メインステージの壇上で箱根町のPRを行いました。



中学生使節団の相互訪問

洞爺湖町の虻田中学校と洞爺中学校の生徒が7月29日から31日まで箱根町を、箱根町の箱根中学校生徒が8月7日から9日まで洞爺湖町を訪問し、交流を深めました。



第37回北海道ツーデーマーチ

箱根町民10名が9月13日から15日まで洞爺湖町を訪問し、「第37回北海道ツーデーマーチ」に参加しました。当日は天候にも恵まれ、お互いに励まし合いながら10kmコースを無事完歩しました。また、有珠山や火山科学館を見学し、洞爺湖町の歴史や町一体となった噴火への備えの大切さを学びました。



箱根大名行列

11月3日に開催した第70回箱根大名行列に、洞爺湖町民9名が参列しました。多くの観光客が観覧する中、国道1号を賑やかに、厳かに練り歩きました。



洞爺湖町物産販売

箱根大名行列と並行して開催された物産販売に、洞爺湖町職員4名が参加しました。ブースには多くの方が足を運び、大盛況となりました。



民生委員児童委員交流会

11月19日から20日まで洞爺湖町民生委員児童委員協議会より17名が箱根町を訪問し、箱根町民生委員児童委員との交流会を行いました。交流会では、両町の民生委員活動について意見交換を行いました。



洞爺湖町・箱根町姉妹都市提携60周年記念展示

洞爺湖町と箱根町はいずれも国立公園内にあり、大きなカルデラや豊かな湖を有する地形と、火山の恵みである温泉が湧き出る観光地である点がよく似ています。両町のこうした類似点や相違点を紹介する展示を、7月から箱根ジオミュージアム、箱根町役場住民ホール、箱根町社会教育センターで行いました。



交流の思い出

中学生使節団

姉妹都市提携初期から続く中学生使節団の相互訪問により、両町の未来の担い手たちも交流を深めました。

箱根の自然を体験できたフォレストアドベンチャー、個性的な作品が並んだ彫刻の森美術館、景観に感動した箱根関所の3つが特に印象に残っています。箱根町と洞爺湖町には芦ノ湖と洞爺湖、富士山と羊蹄山、彫刻などの景観的な共通点があり、もう1つの洞爺湖町かと思えるくらい似ていて驚きました。箱根中学校との距離を縮められて嬉しかったです。この貴重な経験を活用して将来の洞爺湖町で出来ることを考えたいです。



洞爺湖町
西原 蒼太



箱根町
伊藤 由萌

令和元年に箱根中学校の生徒として洞爺湖町を訪問しました。一番印象に残っているのは、漁船に乗りホタテ漁を見学したことで、みんなで船の上で食べたホタテの味は私史上一番、とても美味しかったです。

また、箱根町に洞爺湖町の中学生をお迎えした時には、みんなで海賊船に乗ったことが楽しかった記憶として残っています。

この交流で知り合った友達とは今でも連絡を取りあっています。機会があれば是非、また洞爺湖町を訪問したいです！

箱根町はのどかな自然が感じられ、昔ながらの建物が町の美しい景観と合っていてとても魅了されました。大涌谷では、噴気口から出る硫黄の匂いや活火山の迫力に圧倒されました。バスの中で箱根中学校の皆さんと交わした他愛ない会話なども些細な事さえすべてが愛おしく楽しく、とても思い出に残りました。良い友情を育み、歴史や自然と沢山触れ合ったりすることができた充実した3日間となりました。



洞爺湖町
白井 遥ノ椋

昭和62年の第22回中学生使節団で旧虻田町へ、また、平成17年の第39回中学生使節団に職員として同行する機会をいただき、洞爺湖町を訪問いたしました。青函連絡船乗船の最後の年であり、乗り継いだ列車から洞爺駅に降りた時の、冷んやりとした清々しい空気が出迎えてくれた事を覚えています。毎夏、洞爺湖町の中学生が来町する時、懐かしい記憶が甦ります。船や列車が飛行機に、対面交流がリモート交流となった年もあり、時代の変化を感じますが、両町が交流を重ねてきた60年の歴史が、この先も末永く繋がっていく事を願います。



箱根町
古川 佳世子



洞爺湖町
傳 陽菜乃

箱根海賊船で渡った芦ノ湖や箱根ジオミュージアムなど箱根町への訪問を通して、自分が住んでいるからこそ見えない洞爺の魅力に気づくことができました。また、たくさんの人との交流を通してコミュニケーション能力が身につき、人と人をつなぐものは言葉なのだと思います。自分から積極的に行動する力も身につき、本当に価値のある3日間だったと思います。本当にたくさんのことを学ぶことができました。

箱根小学校から箱根中学校へ進学し、中学3年の時に明星中学校との学校統合があったため、新生・箱根明星中学校の第1期生として、昭和54年に洞爺湖町を訪問しました。統合初年度ということで旧箱中生と旧明中生、それぞれ同数が選ばれ、湯本中学校及び仙石原中学校の生徒も交えた一団で、夜行列車、青函連絡船と乗り継ぎ向かった親善訪問の旅はまさに“15歳・真夏の冒険”でした。

親善交流後しばらく、手紙でやりとりしていた洞爺湖町の友人とは残念ながら再会できませんでしたが、本年度、姉妹都市提携60周年と還暦60歳をダブルで迎えられ、喜びもまさに2倍です。



箱根町
石川 憲一

洞爺湖町から箱根町へ、箱根町から洞爺湖町へ!応援ツアー

火山性活動の活発化により大きな影響を受けた箱根町に、平成27年9月1日～3日の3日間、洞爺湖町から112人が応援ツアーで訪問しました。

また、北海道胆振東部地震で観光業を中心に大きな影響のあった洞爺湖町に、今度は箱根町から元気を届けようと平成30年12月18日～20日の3日間、108人が応援ツアーで訪問しました。



洞爺湖町議会
副議長 板垣 正人



平成12年の有珠山噴火で箱根町に助けてもらった時からずっと恩返しがしたいと思っていました。平成27年に起きた大涌谷の小規模噴火で復興・復旧の応援ツアーが実現され、箱根に行くことができました。役場や商店街の皆さんの歓待ぶりは今でも忘れられず、姉妹都市とはこういうものかと実感しました。その後も行く度に箱根の人々との交流に感動を覚えます。姉妹都市の絆を100年先もつなげていきたいものです。



箱根町民生委員児童委員協議会
会長 村上 ちず子

姉妹都市提携60周年おめでとうございます。私にとってこの応援ツアーは、初めて私たち夫婦と孫だけで行った非常に思い出深い旅です。この時洞爺湖町にはたくさんの雪が積もっており、白銀の世界の中で孫が楽しそうに雪合戦をしていたことを覚えています。洞爺湖町の皆さんにはとても親切にしてください、元気を届けに行ったつもりが、逆にたくさんの元気をいただきました。今後も洞爺湖町と箱根町の交流が続くことを願っています。

交通安全指導員会親善訪問

令和元年11月に洞爺湖町交通安全指導員会親善訪問団が箱根町へ、令和6年7月に箱根町交通指導隊が洞爺湖町を訪問し、意見交換を行うなどの交流をしました。



洞爺湖町交通安全指導員会
副会長 西岡 健市



箱根町は、幅広い年代から交通安全指導に参加しており、熱心に活動されていることが印象的でした。洞爺湖町の住民の一人として、交通安全のためにやれることはやれるうちにやらなければならないと思い新たにしました。東京、横浜の奥座敷として観光客も非常に多く、観光地としてスケールの大きさを感じたことを覚えています。一生に残る良い思い出となりました。



箱根町交通指導隊
隊長 加藤 隆司

私個人としては昭和51年3月に北海道旅行の途中で姉妹都市である虻田町を観光しました。それから年月が経過し、令和元年に洞爺湖町の交通安全指導員会訪問を受け、本来なら翌年の令和2年に訪問する予定になっていましたが、残念ながらコロナ禍で実現できず、令和6年7月に箱根町交通指導隊として洞爺湖町に訪問できました。洞爺湖町交通安全指導員会の皆さんと改めて意見交換など親睦を図れてとても有意義でした。これからも交流が続くことを願っています。

ジオパークとは

地球の営みの保全・活用によって、その地域で人間が暮らし続けることを目指すエリア

箱根町と洞爺湖町はそれぞれ、「箱根ジオパーク」と「洞爺湖有珠山ジオパーク」として活動しています。どちらの町にも、火山活動で誕生した山や湖があり、温泉にも恵まれています。その大地の成り立ちや、恵みを生かした暮らし方には、それぞれ独自性があります。

箱根ジオパークでは、約 40 万年前から繰り返した箱根火山の活動によって、独特の火山地形が生まれました。そこを通る東海道が東西日本をつなげたことから、交通の要衝地であるとともに、箱根十七湯とも言われる多様で良質の温泉が楽しみ、日本を代表する温泉地として発展してきました。

Hakone Geopark

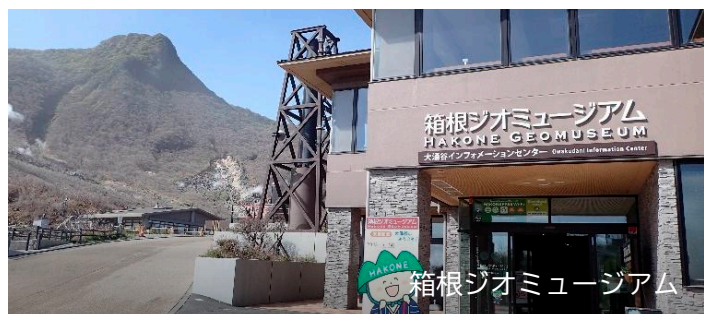
箱根ジオパーク

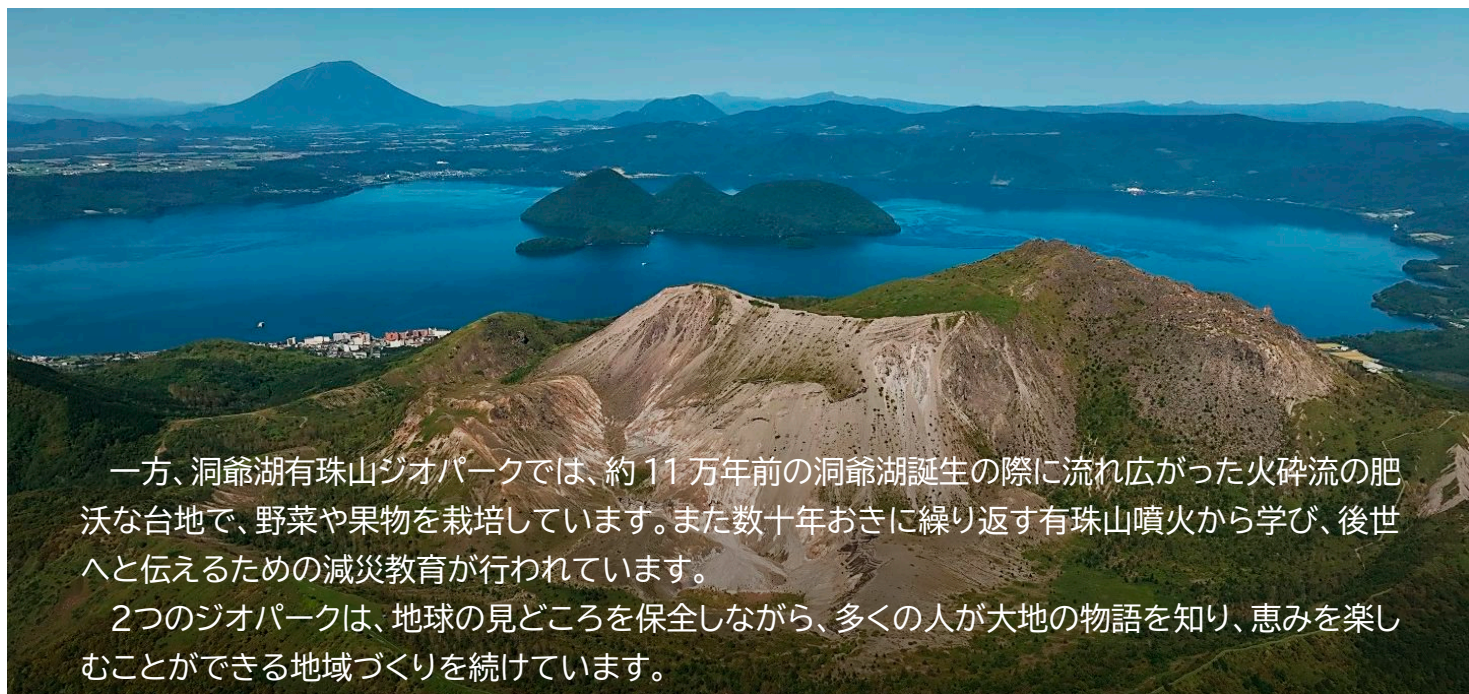
テーマ

北と南をつなぐ自然のみち
東と西をつなぐ歴史のみち

構成市町

箱根町・小田原市・真鶴町・
湯河原町・南足柄市





一方、洞爺湖有珠山ジオパークでは、約11万年前の洞爺湖誕生の際に流れ広がった火砕流の肥沃な台地で、野菜や果物を栽培しています。また数十年おきに繰り返す有珠山噴火から学び、後世へと伝えるための減災教育が行われています。

2つのジオパークは、地球の見どころを保全しながら、多くの人が大地の物語を知り、恵みを楽しむことができる地域づくりを続けています。



減災ツアー



有珠山



減災教育



火山科学館・ビジターセンター



財田自然体験ハウス

Toya-Usu UNESCO Global Geopark

洞爺湖有珠山ジオパーク

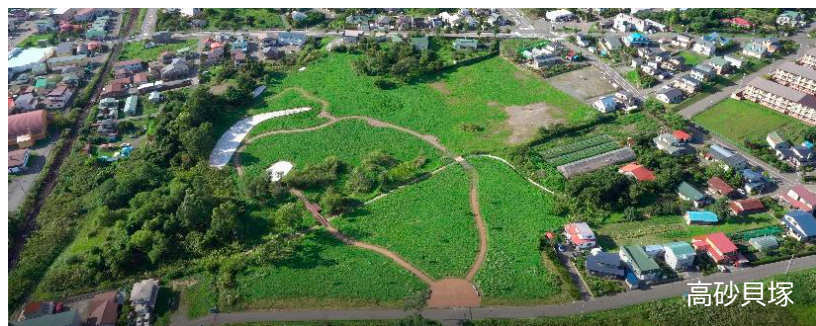
テーマ
変動する大地との共生

構成市町
伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町




**TOYA-USU
GEOPARK**

unesco
Global Geopark



高砂貝塚



浮見堂

洞爺湖町・箱根町のあゆみ

年 号	洞爺湖町のあゆみ	箱根町のあゆみ
1964年 (昭和39年)	4月 道央新産業都市に指定 4月 町立虻田商業高等学校が道立高校に移管	1月 第19回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催 2月 宮城野保育園園舎完成 7月 仙石原中学校体育館完成
1965年 (昭和40年)	8月 洞爺湖ゴルフ場開場 10月 本町上下水道事業完了 12月 洞爺湖温泉町に水銀灯設置	3月 芦之湯じん芥焼却場完成 5月 箱根関所復元、資料館を併設し町公営事業開始
1966年 (昭和41年)	4月 学校給食センター完成 8月 集中豪雨被害5億3千万円	6月 町営箱根簡易水道完成 10月 町村合併10周年記念式典
1967年 (昭和42年)	1月 あわび蓄養施設完成 7月 洞爺湖温泉開基50周年記念式典開催	3月 宮城野小学校体育館完成 3月 「箱根町誌第1巻」発刊 8月 第9回国立公園大会開催
1968年 (昭和43年)	2月 洞爺湖スキー場オープン 3月 常設本町保育所開設 3月 洞爺湖温泉小学校新校舎落成 4月 月浦獅子舞町無形文化に指定	4月 町営芦之湯簡易水道完成 5月 箱根町交通指導隊発足 10月 町の木制定「ヤマザクラ」
1969年 (昭和44年)	3月 常設温泉保育所完成 6月 虻田町じん芥焼却場完成 8月 町の木「ななかまど」町の花「すみれ」を制定	3月 箱根関所入館者100万人達成 7月 婦人交通指導隊誕生 9月 町新庁舎完成
1970年 (昭和45年)	3月 洞爺湖温泉集会所完成 5月 洞爺湖スポーツセンター完成 7月 西胆振消防組合が発足	4月 消防本部・署発足 4月 自治会制度発足 11月 観光美化パトロール隊発足
1971年 (昭和46年)	3月 日鉄鉱業虻田鉱山の閉山 3月 西胆振消防本部庁舎完成	8月 町重要文化財に「ハコネコメツツジ」を指定
1972年 (昭和47年)	2月 都市計画事業認可 2月 公共下水事業に着手 9月 町民憲章を制定	4月 大涌谷自然科学館開館 7月 旧街道資料館開館 7月 カナダ・ジャスパー国立公園と観光姉妹都市提携
1973年 (昭和48年)	4月 洞爺湖温泉通年制季節保育所開設 11月 街路事業洞爺湖岸埋立事業認可 12月 本町地区に冬期季節保育所開設	3月 都市計画下水道事業認可 3月 畑宿弁天山清流公園開館 3月 湯本中学校体育館完成 6月 温泉公民館完成、宮ノ下出張所を併設 7月 カナダ・ジャスパー第1回親善交換学生派遣
1974年 (昭和49年)	3月 農業振興地域整備計画認可 6月 虻田町学校プール新設 9月 洞爺湖温泉に町営プール新設	4月 宮城野公民館完成、宮城野出張所を併設 5月 消防本部庁舎完成 7月 カナダ・ジャスパー第1回親善使節交換学生来町 11月 湯本大橋完成 12月 湯立獅子舞、国選択無形文化財に指定
1975年 (昭和50年)	1月 虻田中学校校舎落成 6月 第1回オールボーイロードレース洞爺湖大会 7月 町立みずうみ小中学校開校 12月 虻田町葬祭場新築	4月 東京に観光案内所開設 5月 都市計画地域区制決定 6月 新ごみ焼却処理施設完成

年 号	洞爺湖町のあゆみ	箱根町のあゆみ
1976年 (昭和51年)	2月 第1回御神火まつり開催 3月 入江保育所新築工事完成 4月 道立虻田商業高等学校に普通科1学級設置 5月 虻田町漁港海岸工事に着手 5月 役場温泉支所移転 8月 虻田町霊園造成工事完了 11月 温泉町に初の中高層公営住宅完成 12月 あぶた体育館完成	3月 箱根大名行列アメリカ建国200年祭に参加 5月 箱根関所入館者500万人達成 5月 箱根湿生花園開園 5月 社会教育センター「明星荘」開設 8月 町の花制定「ハコネバラ」 8月 湯本小学校校舎完成 9月 町村合併20周年記念式典、町民歌・町の鍵制定 10月 湯本小学校体育館完成
1977年 (昭和52年)	6月 郷土資料館オープン 8月 有珠山噴火し洞爺湖温泉に火山礫直撃、洞爺湖温泉に避難命令発令	4月 「緑の銀行」制度創設 6月 箱根町新総合計画策定 7月 箱根明星中学校グラウンドに初の夜間照明施設完成
1978年 (昭和53年)	6月 火山科学館オープン 7月 全道身障者スポーツ大会並びに福祉大会開催 9月 有珠山噴火復興農業まつり開催 10月 泥流災害発生 11月 泥流災害犠牲者町民葬	5月 名古屋に観光案内所開設（九州観光案内所閉鎖） 10月 広報誌「グラフはこね」創刊
1979年 (昭和54年)	3月 みずうみ小中学校廃校 3月 小有珠川、西山川流路完成 4月 虻田商業高校が虻田高校に校名変更 11月 栄保育所完成 12月 泉集会所、入江集会所、泉集会所完成	4月 箱根中学校、箱根明星中学校統合 7月 元箱根に都市計画児童公園「御殿公園」開設 7月 町民臨海保養所を開設 12月 老人福祉センター「やまなみ荘」開設
1980年 (昭和55年)	1月 洞爺湖スケート場完成 4月 冒険公園オープン 10月 戸長役場設置100年、開基180年記念式典挙行 10月 入江馬頭碑、大磯馬頭碑を町文化財に指定 10月 町民グラウンド完成	4月 弔慰金交付制度創設 9月 箱根小学校校舎完成
1981年 (昭和56年)	2月 あぶた読書の家開館 3月 虻田町史江戸時代編発刊 3月 温泉中学校校舎完成 4月 火山科学館移転新装開館 11月 みんなの森完成 11月 虻田小学校体育館完成	11月 第1回国立公園「箱根」風景画展を開催 11月 箱根関所入館者1,000万人達成 11月 小塚橋（架替）完成
1982年 (昭和57年)	3月 洞爺湖温泉小学校校舎完成 4月 みずうみ読書の家開館 4月 森林博物館改装オープン 6月 洞爺湖中島のエゾシカ生息198頭を確認 6月 「ビックサマー・フェスティバル82」を開催	6月 町営テニスコートオープン 7月 町政モニター制度発足 7月 仙石原文化センター開館（公民館・出張所併設） 11月 観光日曜市を開設
1983年 (昭和58年)	3月 知的障害施設清水友愛の里開所 9月 入江貝塚発掘調査 10月 虻田漁港及び虻田漁協関連施設完成	7月 大涌谷自然科学館入館者300万人達成 7月 町立郷土資料館開館 7月 箱根明星中学校体育館完成 8月 町立弓道場完成
1984年 (昭和59年)	3月 花和中学校閉校 4月 あぶたふれ合いセンター完成 6月 洞爺湖文化センター完成 12月 学校給食センター完成	1月 宮城野温泉会館開館 5月 寄木細工が国の「伝統的工芸品」に指定される 8月 防災行政無線完成 8月 仙石原中学校校舎完成 10月 畑引山に「虻田の森」完成

年 号	洞爺湖町のあゆみ	箱根町のあゆみ
1985年 (昭和60年)	4月 月浦中学校が温泉中学校へ統合 4月 入江保育所完成 5月 有珠山ふれ合いの森づくり運動スタート 10月 町道泉公園線開通	7月 湯本駅前に観光案内情報版完成 10月 芦ノ湖周辺公共下水道共用開始 10月 仙石原浄水センター完成
1986年 (昭和61年)	2月 第1回洞爺湖温泉雪まつり開催 5月 物語虻田町史第4巻「産業編」発刊	8月 国立公園指定50周年記念式典開催 9月 町制30周年記念式典挙行、町の鳥・町のシンボルマーク制定 10月 「箱根の森」起工植樹祭実施
1987年 (昭和62年)	9月 虻田小学校校舎完成 10月 第1回ツール・ド・北海道洞爺湖大会開催 10月 洞爺湖温泉地区で公共下水道供用開始 11月 花和小学校校舎完成	4月 21世紀はこねプラン制定 10月 箱根町国際交流協会設立 10月 ニュージーランド・タウポ町と姉妹都市を提携 10月 湯本中学校校舎完成
1988年 (昭和63年)	1月 月浦集会所完成 3月 入江貝塚国史跡に指定 6月 第1回北海道ツーデーマーチ開催 10月 洞爺湖コミュニティセンター完成 12月 町営公衆浴場完成	2月 社会教育センター完成 4月 箱根芦之湯フラワーセンターオープン
1989年 (平成元年)	3月 月浦小学校閉校 5月 国道37号拡幅整備計画事業開始 9月 母と子の館完成 11月 有珠山噴火復興記念公園、洞爺湖遊歩道完成	4月 財団法人箱根町観光公社設立 9月 箱根町資源保全基金設置 10月 第1号公共下水道供用開始 10月 宮城野浄水センター完成 10月 温泉小学校校舎完成
1990年 (平成2年)	6月 虻田町民プール完成 8月 グリーンスティ洞爺湖オートキャンプ場オープン 9月 あぶたコミュニティセンター完成	4月 町行政組織機構改革により部制導入 8月 温泉小学校プール完成
1991年 (平成3年)	1月 みずうみ読書の家完成 11月 板谷川公営住宅完成	3月 箱根幼稚園完成 4月 仙石原公園「いこいの家」完成 6月 宮城野テニス場完成 7月 森のふれあい館オープン 10月 箱根関所観覧者2千万人達成 11月 仙石原中学校体育館完成
1992年 (平成4年)	2月 青年の国内先進地視察事業スタート 3月 虻田高校定時制課程閉課 3月 入江馬頭観世音碑が道有形文化財に指定 12月 花和保育所完成	3月 役場分庁舎完成 8月 仙石原公園野外ステージ完成 11月 宮城野小学校校舎完成
1993年 (平成5年)	2月 「ふれ合いの道」事業実施計画承認 7月 第1回全日本レディストライアスロン洞爺湖選手権大会開催	3月 湯本仲町集会所、芦之湯集会所完成 4月 美化センター完成 4月 「町長へのメッセージ」制度新設 7月 「はこねテレホンガイド」スタート 10月 箱根集会所完成 11月 大平台集会所完成
1994年 (平成6年)	3月 道道洞爺湖登別線温泉市街整備完成 3月 道央自動車虻田洞爺湖インターオープン	1月 東京箱根間往復大学駅伝競走、第70回大会記念碑建立 3月 ニノ平自治会館が完成
1995年 (平成7年)	2月 デイサービス・在宅介護センター「ふる里の丘」オープン 5月 洞爺湖マラソン大会第1回 9月 有珠山火山防災マップ（ハザードマップ）を町内全戸に配布	1月 兵庫県南部地震被災地に消防署員2名派遣 2月 箱根湿生花園管理棟が完成 3月 箱根明星中学校に弓道場が完成 4月 総務部防災課、国体事務局を新設 5月 県内第1号の道の駅「箱根峠」がオープン
1996年 (平成8年)	4月 消防総合庁舎落成 8月 「ふるさと歴史の広場」として史跡入江貝塚を整備 8月 花和地区開基100年、記念式典と祝賀会を開催	2月 仙石原に箱根ビジターセンターがオープン 2月 箱根温泉統一キャッチフレーズが「なんかいいよね、箱根って。」に決定 7月 「箱根町民憲章」を制定 9月 町制40周年記念式典を挙行

年 号	洞爺湖町のあゆみ	箱根町のあゆみ
1997年 (平成9年)	1月 本町保育所完成、4月より保育開始 11月 「とうや湖ぐるっと彫刻公園」の彫刻58基に達する 11月 道央自動車道、虻田・長万部間が開通	3月 一般廃棄物最終処理場が芦之場に完成 4月 箱根町総合体育館「レイクアリーナ箱根」がオープン 4月 箱根町第4次総合計画がスタート 4月 臨海保養施設を西伊豆土肥町に開設 4月 町立観光案内所を4ヶ所に開設 5月 箱根関所・資料館の観覧者が2,500万人を達成
1998年 (平成10年)	4月 国指定の「入江貝塚史跡公園」「入江貝塚館」がオープン 10月 「グリーンステイ洞爺湖」を会場に、第1回「月浦ワインまつり」を開催	4月 国指定史跡・重要文化財「元箱根石仏・石塔群」を一般公開 7月 箱根キャンペーンレディ3人決定 9月 箱根コンベンションビューロー設立総会を開催 10月 第53回国民体育大会秋季大会（かながわ・ゆめ国体）剣道競技会をレイクアリーナ箱根で開催
1999年 (平成11年)	5月 健康福祉センター「さわやか」完成 10月 町民保養センター「やすらぎの家」リニューアルオープン	6月 箱根登山鉄道の早川橋梁が国の登録文化財に指定 6月 富士屋ホテルのレジスターブックが町文化財に指定 7月 箱根町が「国際会議観光朝市」の認定を受ける 11月 仙石原中学校気象観測50周年記念式典を挙行
2000年 (平成12年)	3月 有珠山噴火し、全町避難命令発令 12月 火山科学館内にみずうみ読書の家開館	3月 奈良屋旅館が国の文化財建造物として登録 3月 県立小田原城内高校箱根分校が開校 4月 箱根町が「姉妹都市虻田町有珠山噴火対策本部」を設置 10月 町指定ごみ袋制を開始
2001年 (平成13年)	3月 「局地激甚災害」指定を受ける 4月 有珠山噴火災害虻田町復興計画を策定 6月 夕日ヶ丘パークゴルフ場オープン 6月 西山山麓火口散策路一般開放	1月 新世紀を記念「ウエルカム21はこね」オープニングイベントを開催 3月 消防庁舎が完成 7月 森のふれあい館開館10周年 10月 新世紀記念事業・東海道宿駅制度制定400年記念「はこね宿場まつり」を開催 10月 総合保健福祉センター（愛称：さくら館）がオープン 10月 町指定史跡「東光庵」を復元し一般公開 11月 「箱根大涌谷硫黄のかおり」が国のかおり風景100選に 11月 西さがみ連峰共和国を建国
2002年 (平成14年)	1月 桜ヶ丘保育所完成 3月 高砂貝塚が追加指定、国指定史跡「入江・高砂貝塚」に名称変更 6月 町民テニスコートオープン 10月 洞爺湖温泉小学校完成 12月 「猪牙製装身具」町有形文化財に指定	4月 行政機構改革を実施 4月 箱根町第4次総合計画後期基本計画がスタート 7月 カナダ・ジャスパー町姉妹提携30周年再調印式（於：ジャスパー町）

年 号	洞爺湖町のあゆみ	箱根町のあゆみ
2003年 (平成15年)	2月 物語虻田町史6巻目を発行 4月 いぶり噴火湾漁業協同組合発足 6月 洞爺湖森林公園完成 6月 役場庁舎、消防庁舎、防災センター完成 6月 生ゴミ堆肥化施設稼働 7月 天皇皇后両陛下の行幸啓 8月 「環状列石出土の遺物」町有形文化財に指定 11月 泉公園線復旧ルート完成	2月 西さがみ連邦共和国でフィルムコミッションを設立 3月 大涌谷自然科学館が閉館 4月 町立観光施設の業務を箱根町観光公社に委託 4月 山崎集会所が完成 4月 仙石原幼児学園が完成 5月 子育て支援センターが開設 5月 第2一般廃棄物最終処理場が完成 10月 箱根駅伝予選会
2004年 (平成16年)	4月 郷土資料館開館 4月 文化交流会館開館 4月 ゴミ処理有料化 4月 虻田町トレイルセンターオープン 5月 「あぶた縄文の日」制定 6月 豊浦町・虻田町・洞爺村合併協議会を設置	4月 箱根関所仮オープン 4月 来訪者にやさしい観光地づくりをめざし、湯本観光案内所（i案内所）に、英語に加えて韓国語・中国語のスタッフを配置
2005年 (平成17年)	3月 洞爺村との2町村による合併決定 5月 「有珠山噴火5年復興感謝祭inとうや湖」記念セレモニー開催 10月 道の駅「あぶた」オープン	3月 社会教育センター図書館で図書館システム稼働 3月 小田原箱根道路の一部が開通 7月 電子申請・届出サービスを開始 8月 台風11号により町営温泉施設などに甚大な被害を受ける
2006年 (平成18年)	3月 洞爺湖町誕生 3月 洞爺湖町社会福祉協議会設立 3月 ペット慰霊碑の建立 6月 開町式の開催 10月 地域包括支援センター開設 12月 洞爺湖町商工会誕生	2月 「箱根もてなしの達人」5名を認定 4月 町が景観行政団体となる 4月 財団法人箱根町観光協会が設立される 9月 町制50周年記念式典を挙行政 9月 箱根町健康の日・箱根町健康都市宣言を制定 10月 箱根関所入場者が3,000万人を達成
2007年 (平成19年)	3月 三豊トンネル開通 3月 洞爺総合支所開所 3月 花和小学校閉校 4月 北海道洞爺湖サミット開催決定 5月 洞爺湖ビジターセンター・火山科学館オープン 7月 三豊市と友好都市提携	2月 市内局番に「8」が付き、電話番号が10桁となる 3月 箱根関所完成記念式典を挙行政 4月 仙石原幼児学園が県から「認定こども園」に認定される 4月 第5次総合計画、都市計画マスタープランスタート 11月 第20回東海道シンポジウム箱根宿大会が開催される

年 号	洞爺湖町のあゆみ	箱根町のあゆみ
2008年 (平成20年)	1月 洞爺湖町議会環境宣言を可決 2月 洞爺湖有珠山ジオパークが日本ジオパークに加盟 3月 洞爺湖町非核平和の町宣言を可決 4月 洞爺湖芸術館オープン 4月 道の駅とうや湖オープン 7月 北海道洞爺湖サミット開催	2月 ニューゼaland・タウポ町姉妹提携 20周年、親善訪問団を派遣 4月 箱根の森小学校開校（宮城野・温泉・ 箱根：3小学校統合） 4月 箱根中学校開校（湯本・箱根明星・仙 石原：3中学校統合） 10月 広域証明発行サービスを開始
2009年 (平成21年)	7月 酪農学園大学・同短期大学部と地域総合交流協 定を締結 7月 縄文シティサミットinとうや湖開催 7月 中国・安徽省黄山市の太平湖と友好湖の覚書を 締結 8月 洞爺湖有珠山ジオパークが世界ジオパークネッ トワークに加盟	3月 町の魚「芦ノ湖のワカサギ」を制定 3月 箱根湯本駅新駅舎の利用開始 3月 箱根町に噴火警戒レベル導入 4月 湯本幼児学園開所 6月 箱根町景観計画策定、箱根町景観条例施行 11月 箱根湿生花園で天皇陛下御在位20年慶 祝記念植樹を実施
2010年 (平成22年)	6月 第1回TOYAKOマンガ・アニメフェスタ開催 7月 洞爺湖温泉誕生100年記念感謝祭 10月 1市3町合同防災訓練実施	5月 天皇皇后両陛下下行幸啓、箱根湿生花園 を視察 7月 EVタウンプロジェクト・オープニング セレモニーを開催 10月 金時山山頂公衆トイレ落成式を挙行
2011年 (平成23年)	3月 洞爺湖町災害時要援護者避難支援計画策定 6月 洞爺湖地場産品協同組合設立 9月 西胆振6市町が防災協定締結 10月 防災無線を利用した行政放送開始	1月 アニメ「エヴァンゲリオン」と芦ノ湖の 風景を描いた電気自動車を公用車に導入 3月 東日本大震災が発生し、町は震度4を計 測、震災支援「箱根温泉AIDプロジェ クト」開始 3月 元箱根集会所完成 4月 箱根町観光振興条例を施行 9月 箱根町環境観光都市宣言を制定 10月 「平和を願う碑」の除幕式を挙行
2012年 (平成24年)	4月 三豊市と「災害時における相互応援協定」を締結 4月 機構改革を実施して部長制を導入 4月 洞爺湖消防署が伊達消防署洞爺湖支署に名称変更 4月 洞爺分署が洞爺出張所に名称変更 10月 第1回大秋穫祭開催 11月 第1回町民感謝祭開催	4月 箱根神社所蔵の神像（男神坐像、女神坐 像各1体）が国重要文化財に指定される 5月 箱根湿生花園の入場者数が1,100万人 を突破 9月 「松の茶屋」が国登録有形文化財に登 録される 9月 箱根ジオパークが誕生（箱根町・小田 原市・湯河原町・真鶴町） 11月 姉妹都市提携40周年を記念しカナダ・ ジャスパー町親善訪問団が来訪、友好 の宣誓書に署名

年 号	洞爺湖町のあゆみ	箱根町のあゆみ
2013年 (平成25年)	4月 胆振地方石油販売業協同組合と災害協定を締結 8月 アイアンマン・ジャパン北海道が洞爺湖町を主会場に開催 9月 共和町と「原子力災害時における住民避難支援に関する確認書」を交わす 11月 洞爺湖温泉利用協同組合が有珠山金比羅火口付近で地熱資源調査開始	4月 さくら館内に町ボランティアルーム「ハナミズキ」を開設 8月 恩賜箱根公園（元箱根）、強羅公園および神仙郷（強羅）が町内で初めての国登録記念物として登録される 9月 岩手県洋野町の災害廃棄物（漁網）を町第2一般廃棄物最終処分場に受け入れ開始
2014年 (平成26年)	1月 有珠山金比羅火口付近で100度の地熱水発見 2月 北海道行政書士会と災害支援協定を締結 3月 入江貝塚出土品134点が北海道有形文化財の指定を受ける 5月 さわやか別館リニューアル、名称を洞爺湖町地域交流センターに変更 11月 伏見橋崩落事故発生 12月 本町地区の水源を変更	1月 神奈川なでしこブランドに「箱根芸妓・きらり妓」と「F-STYLEPROJECTで考案した商品」が認定 3月 原動機付き自転車・ミニカーの箱根オリジナルナンバープレートの交付開始 4月 箱根ジオミュージアムが大涌谷にオープン
2015年 (平成27年)	4月 電気自動車急速充電器を町内4カ所に設置 11月 洞爺高校閉校記念式典	3月 小田原箱根道路全面開通 3月 箱根芦之湯フラワーセンター、宮城野苗圃、蓬萊園を閉鎖 5月 芦之湯温泉が国民保養温泉地に指定 5月 自治体主導初の外貨両替機を総合観光案内所に設置 6月 大涌谷の小規模噴火 7月 「函嶺洞門・千歳橋・旭橋」が国重要文化財に指定 11月 八代亜紀さんがはこね親善大使に就任
2016年 (平成28年)	2月 洞爺湖温泉中学校閉校記念式典 3月 町村合併10周年記念式典 3月 西胆振消防組合伊達消防署洞爺湖支署洞爺出張所落成式 5月 洞爺ふるさと交流センターオープン 7月 洞爺湖温泉開湯100年感謝祭 12月 洞爺湖有珠山ジオパークが日本ジオパークに再認定	9月 箱根ジオパークに南足柄市編入 9月 町制60周年記念式典を挙行 10月 さくら館末病センター認証
2017年 (平成29年)	3月 洞爺湖温泉で地熱発電施設竣工式 4月 洞爺湖町月浦運動公園ポロモイスタジアムオープン 8月 第1回北海道トライアスロン大会開催 11月 虻田漁港大磯地区完成に伴う臨港道路開通セレモニー	3月 温泉幼稚園閉園 4月 第2子以降の保育料無料化開始 7月 宮城野保育園新園舎完成 7月 カナダ・ジャスパー町姉妹都市提携45周年 10月 ニュージーランド・タウポ町姉妹都市提携30周年
2018年 (平成30年)	2月 洞爺湖有珠山ジオパークが「ユネスコ世界ジオパーク」に再認定 7月 北海道・北東北の縄文遺跡群世界文化遺産推薦候補に選定	3月 「箱根細工の制作用具及び製品」1677点が国登録有形民俗文化財に登録 4月 仙石原公園健康遊具供用開始 5月 箱根八里日本遺産認定

年 号	洞爺湖町のあゆみ	箱根町のあゆみ
2019年 (令和元年)	3月 洞爺湖町非核平和の町10周年記念講演会 4月 新洞爺保育所が開所	5月 箱根関所設置400年記念事業を展開 6月 松尾駿さん（チョコレートプラネット）がはこね親善大使就任 7月 こども宅食サービス開始 10月 台風19号による被害 11月 スイス・サンモリッツ友好都市提携5周年
2020年 (令和2年)	2月 新型コロナウイルス感染症対策本部設置 6月 新型コロナウイルス感染防止の洞爺湖町取組宣言実施 10月 洞爺湖温泉誕生100年記念事業開催	1月 箱根町感染症等発生時対策本部設置 2月 金時公園トイレ（エヴァンゲリオンデザイン）の供用開始
2021年 (令和3年)	4月 洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設「ウトゥラノ」オープン 4月 中島・湖の森博物館オープン 7月 入江・高砂貝塚館リニューアルオープン 7月 北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産登録決定	2月 箱根ジオパーク再認定 4月 町立小中学校給食費一律無償化開始 4月 はこね金太郎ライン開通 7月 東京2020オリンピック・パラリンピック出場選手が事前キャンプを実施（パラリンピック出場選手は8月実施） 9月 塔ノ沢発電所と関連施設が土木遺産認定
2022年 (令和4年)	3月 洞爺財田自然体験ハウス・財田キャンプ場の施設改修工事が完了	3月 湯立獅子舞国指定重要無形民俗文化財に指定 7月 カナダ・ジャスパー町姉妹都市提携50周年 10月 ニュージーランド・タウポ町姉妹都市提携35周年 11月 ねんりんピックススポーツ交流大会ゴルフが箱根町で開催 12月 子育てシェアタウンスタート
2023年 (令和5年)	2月 G7ゼロカーボンミーティング in 洞爺湖が開催 3月 TOYAKO縄文ガイドの会が発足 4月 西山山麓火口散策路のルート「旧国道ルート」が開通 8月 高校生以下の医療費自己負担額無償化 9月 洞爺湖有珠山ジオパークが「ユネスコ世界ジオパーク」に再認定	3月 仙宮洞門開通 4月 パートナースhip宣誓制度創設
2024年 (令和6年)	5月 第50回記念ANA洞爺湖マラソンが開催 7月 洞爺国際交流協会が30周年記念式典 9月 北海道ツーデーマーチが第37回大会をもって閉幕 10月 洞爺地区コミュニティタクシー、とうやコネクタタクシーが運航開始 11月 縄文シティサミット in とうや湖が開催	1月 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走が開催 3月 グリーン・デスティネーションズ「世界の持続可能な観光地トップ100選」のビジネス＆マーケティング部門世界1位を受賞 4月 箱根町オリジナルデザインの婚姻届が誕生 4月 箱根ジオミュージアム開館10周年 7月 移動スーパー開始 7月 箱根八里日本遺産再認定



姉妹都市交流 60 年のあゆみ

～洞爺湖町・箱根町姉妹都市提携 60 周年記念誌～

編集・発行

箱 根 町

洞 爺 湖 町



